

4. プログラムの設定

PbP プリントスプーラーと入力コネクタの設定の追加、変更は Windows タスクトレイアイコンのメニューから実行します。

4.1. PbP プリントスプーラー

カーソルを下図のアイコン（図中丸内）の上に移動して、マウスの右ボタンを押すとメニューが表示されます。



図 23 タスクトレイアイコン

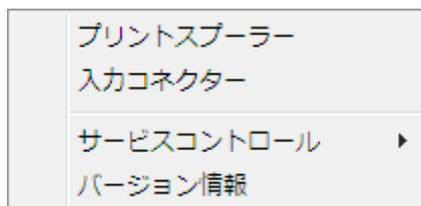


図 24 設定メニュー

メニューから、プリントスプーラーを選択して PbP プリントスプーラーの構成を行います。

4.1.1. PbP プリントスプーラーの構成

PbP プリントスプーラーメニューを選択すると、PbP プリントスプーラー一覧が表示されます。新規に PbP プリントスプーラーの定義を設定するには、“追加”のボタンを押します。



図 25 PbP プリントスプーラー一覧画面

PbP プリントスプーラー設定ウィンドウが表示されます。“表 2 PbP プリントスプーラー設定項目”を参照し、項目を設定します。

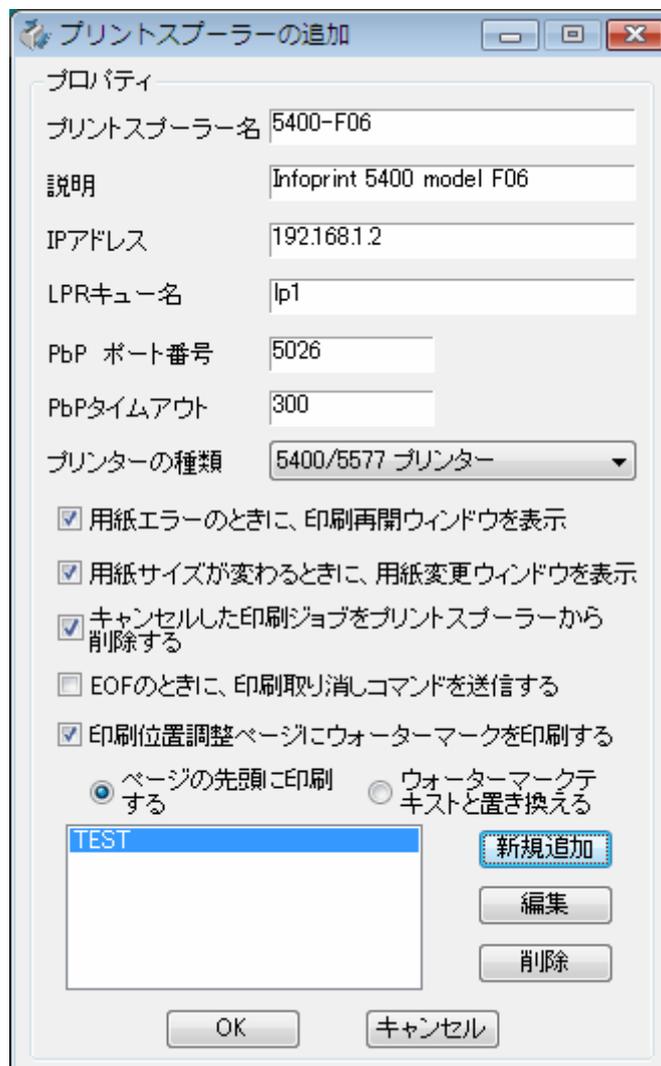


図 26 PbP プリントスプーラー設定画面（入力例）

このウィンドウでは、以下の項目を設定します。

表 2 PbP プリントスプーラー設定項目

項目	内容
プリントスプーラー名	PbP プリントスプーラーの名前を定義します。ここで指定した PbP プリントスプーラー名が、 PbP ポートモニターから選択可能となります。
説明	PbP プリントスプーラーについての説明を入力することができます。
IP アドレス	PbP プリントスプーラーが印刷データを送信するプリンターの IP アドレスを指定します。
LPR キュー名	ページ出力制御機能では、 LPR プロトコルで PbP プリントスプーラーからプリンターに印刷データを送信します。 LPR プロトコルで送信した場合のプリンターの LPR キュー名を指定します。 5400 プリンターでは、「 lp1 」、 5577/5579 プリンターでは、「 lp1~lp6 」を指定します。
PbP ポート番号	ページ出力制御機能では、プリンターの状態・情報の監視に PbP ポートを使用します。プリンター側で設定してある PbP ポート番号を指定します。プリンター側と同一の値を指定してください。 5577/5579/5400 プリンターのデフォルト値は「 5026 」です。
PbP タイムアウト	ページ出力制御機能のタイムアウト時間を定義します。ページ出力制御機能を利用したプリンターでの印刷が終了後、タイムアウト時間が経過するまでは、接続が保持されます。接続が保持されている間は、“ IP アドレス”で指定したプリンターでは、他のクライアントからの印刷は開始できません。 単位は秒です。 例) 300 秒
プリンターの種類	“ IP アドレス”で指定したプリンターの種類を選択します。 5577/5400 プリンターを選択します。

4.1.1.1. 機能選択項目

チェックボックスのチェックの有無により、PbP プリントスプーラーの動作を選択することができます。以下には、それぞれの項目につき、チェックボックスをチェックした場合と、チェックしない場合の機能について、説明しています。

4.1.1.1.1. 「用紙エラーのときに、印刷再開ウィンドウを表示」

- 印刷中にエラーが発生した場合、印刷再開ウィンドウを表示します。
- 印刷中にエラーが発生した場合、用紙 JAM、EOF（印刷取消しコマンドを送信する場合のみ）エラーの場合、印刷再開ウィンドウが表示されません。

4.1.1.1.2. 「用紙定義が変わるときに、用紙変更ウィンドウを表示」

- 用紙定義（サイズ）の異なる印刷データを印刷する時に、印刷データ間に用紙変更ウィンドウを表示します。例えば、15x11 インチの印刷データを印刷した後に、10x8.5 インチの印刷データを印刷すると、この印刷データの印刷前に「用紙変更画面」が表示されます。
- 用紙定義（サイズ）の異なる印刷データを印刷しても、用紙変更ウィンドウを表示しません。

4.1.1.1.3. 「キャンセルした印刷ジョブをプリントスプーラーから削除する」

- 印刷ジョブ一覧ウィンドウや、プリンターの操作パネルを使用して印刷をキャンセルした印刷データを印刷ジョブ一覧から削除します。
- 印刷ジョブ一覧ウィンドウや、プリンターの操作パネルを使用して印刷をキャンセルした印刷データを印刷ジョブ一覧から削除しません。後で再印刷を行うことができます。

4.1.1.1.4. 「EOF のときに、印刷取り消しコマンドを送信する」

- EOF（用紙切れ）が発生した時に、印刷取り消しコマンドを送信します。使用している用紙サイズ・用紙の種類によっては、最後のページまで印刷すると鮮明に印刷がされない場合があります。そのような場合には、印刷取り消しコマンドを送信して、印刷を取り消すことができます。この機能を選択した場合、用紙端まで印刷されませんのでご注意ください。印刷の内容によっては（用紙端まで印刷データがない場合）、印刷が完了しているように見えてもプログラムからは印刷終了と認識できない場合があります。この場合、同一ページが重複して印刷されてしまいますので、印刷結果を十分にご確認ください。
- EOF が発生しても、印刷取消しコマンドを送信しません。用紙端を印刷するまでに、何度も EOF が発生するモードで、プリンターを使用されている場合には、印刷を繰り返すことにより用紙端まで印刷することができます。通常は、こちらの設定でのご使用をおすすめします。

4.1.1.1.5. 「印刷位置調整ページにウォーターマークを印刷する」

- 印刷位置調整ページを印刷したときに、位置調整用に印刷しているページと判別するための印刷方法を

選択することができます。

1. ページの先頭に印刷する

このラジオボタンを選択した場合、テキストボックスに入力したテキストデータをページデータの先頭に印刷します。

2. ウォーターマークテキストと置き換える

このラジオボタンを選択した場合、テキストボックスに入力したテキストデータを印刷データに変えて印刷します。

- 印刷位置調整ページとして、エラーが発生したページを印刷します。印刷位置調整ページを印刷後に印刷を再開すると、エラーが発生したページは2度印刷されます。印刷が終了したら、印刷位置調整ページを破棄してください。

PbP プリントスプーラーに各項目を設定し、PbP プリントスプーラーを動作させると“図 27 PbP プリントスプーラー一覧（動作例）”のように表示されます。



図 27 PbP プリントスプーラー一覧（動作例）

4.1.2. 入力コネクタ

入力コネクタの設定の追加、変更は、Windows タスクトレイアイコンのメニューから実行します。カーソルを下図のアイコン（図中丸内）の上に移動して、マウスの右ボタンを押すとメニューが表示されます。



図 28 トレイアイコン

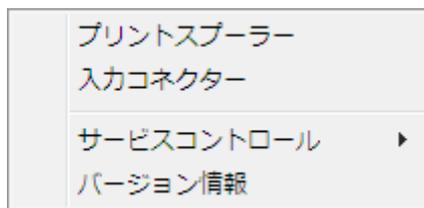


図 29 設定メニュー

1. メニューから、入力コネクタを選択して入力コネクタの構成を行います。



図 30 入力コネクタ画面

2. 入力コネクタの画面から「追加」ボタンを押すと、入力コネクタの追加画面が表示されます。

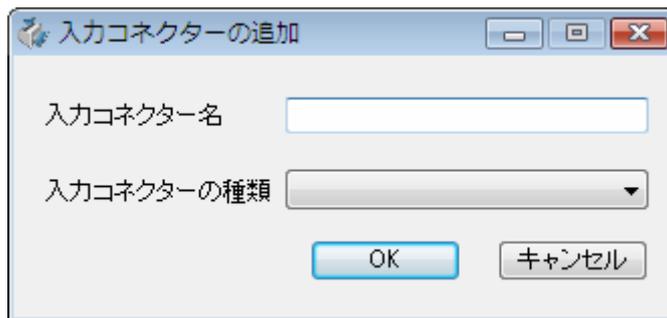


図 31 入力コネクタの追加画面

3. 入力コネクタの名前を、入力フィールドに記入し、入力コネクタの種類から、“File system input connector”（ホットフォルダー入力コネクタ）を選択します。

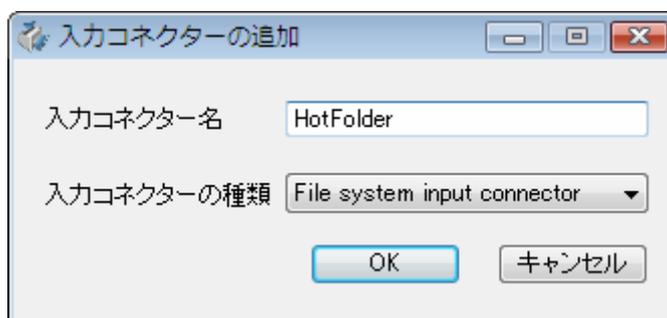


図 32 入力コネクタの選択

4. 「OK」ボタンを押すと、追加した入力コネクタが入力コネクタ画面に登録されます。

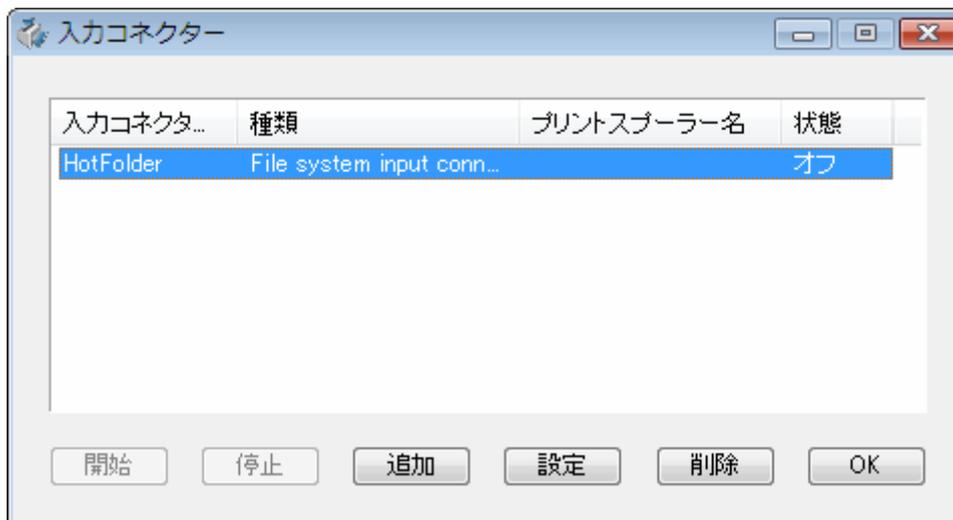


図 33 入力コネクタ画面

5. 登録した入力コネクタを選択して、「設定」ボタンを押し、入力コネクタの設定を行います。

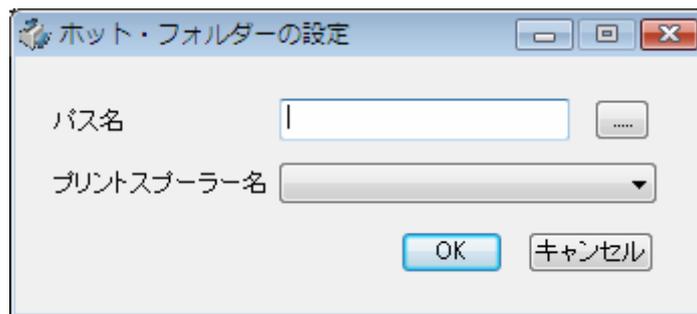


図 34 ホットフォルダーの設定画面

6. パス名に、印刷データ入力として監視するフォルダー名（ディレクトリー名）をフルパスで入力します（宛先のフォルダーは、ホットフォルダーの設定前に作成しておいてください）。プリントスプーラー名では、登録済の PbP プリントスプーラーを選択します。フォルダー名と関連付ける PbP プリントスプーラーを選択してください。
7. 「OK」ボタンを押すと、設定が決定されます。入力コネクター画面から、設定した入力コネクターを選択して、「開始」ボタンを押すと入力コネクターが使用可能になります。



図 35 入力コネクター画面

4.2. プリンタードライバー

プリンタードライバーの設定は、それぞれのプリンター付属の README.TXT を参照してください。

4.3. 5400 系プリンタードライバーで必要な設定項目

5400 系プリンタードライバーの場合には、ページ出力制御機能の“ページ出力制御機能を使用する(B)”をチェックする必要があります。このチェックボックスをセットすると、ページ出力制御に必要な制御情報が印刷データに付加されます。

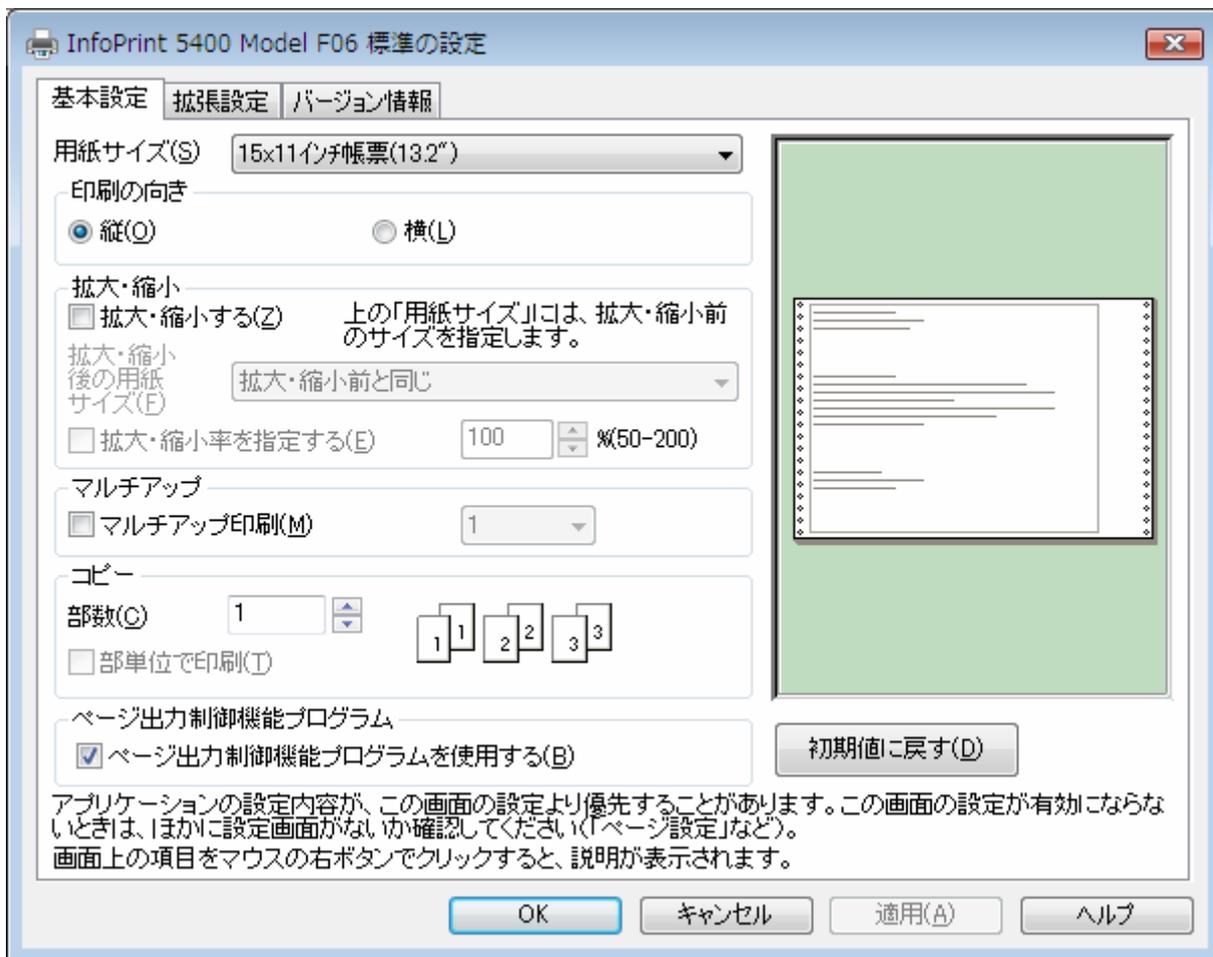


図 36 5400 系プリンタードライバーの印刷設定画面

4.4. PbP ポートモニター

プリンタードライバーの設定後に、プリンターのポートの構成を行います。

4.4.1. PbP ポートの選択

以下の手順で PbP ポートを構成します。

1. プリンターのプロパティウインドウからポートタブを選択します。“2.3「ページ出力制御機能プログラム」のインストール(6. PbP ポートモニターのインストールを選択している場合には、インストールの途中で“図 9 ポート名の入力画面”が表示されます。)”で指定した PbP ポート名（入力例：5400-F06）を選択します。

(注)Windows Vista では、「管理者として実行」－「プロパティ」からプロパティウインドウを表示して、上記の操作を行ってください。

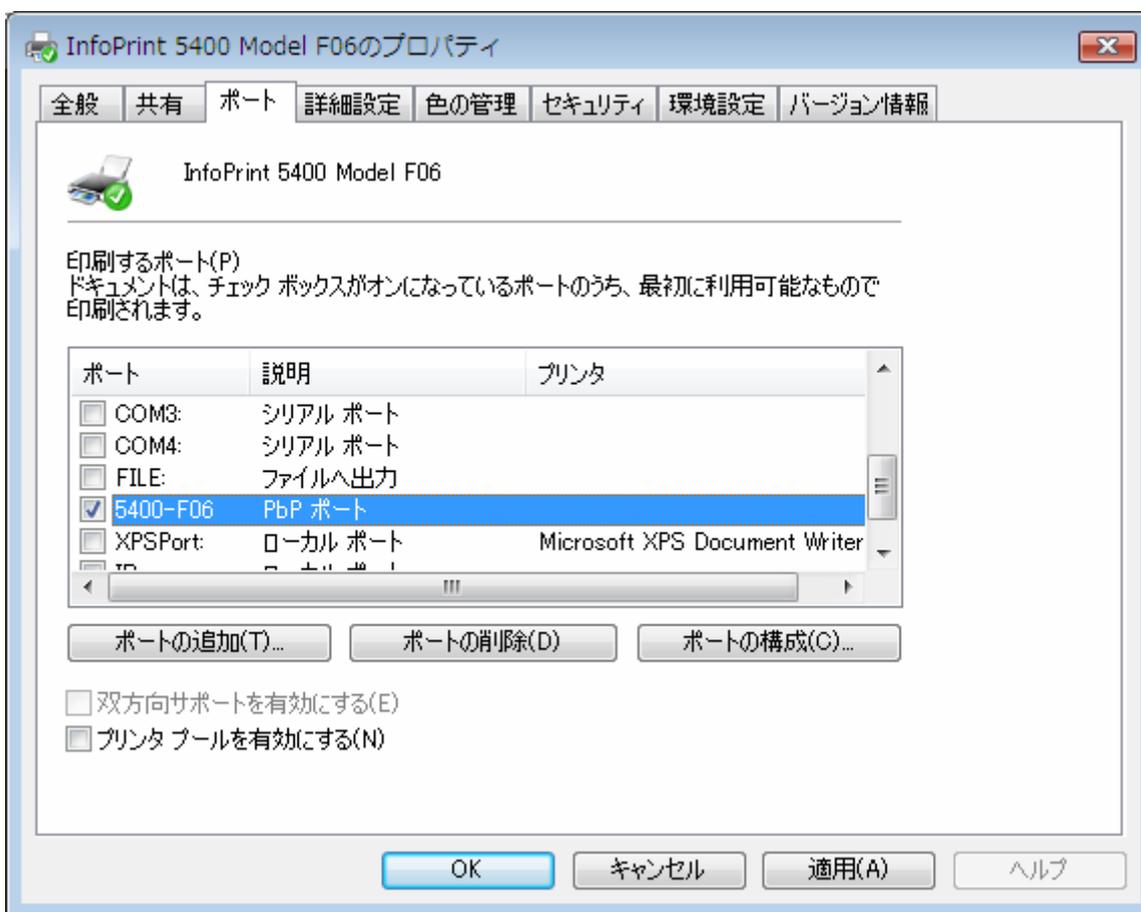


図 37 プリンタープロパティのポート画面

2. 「ポートの構成」ボタンを押します。このプリンタードライバーの宛先となる PbP プリントスプーラー名を“図 26 PbP プリントスプーラー設定画面（入力例）（ページ 28）”にて設定した名称から選択します。

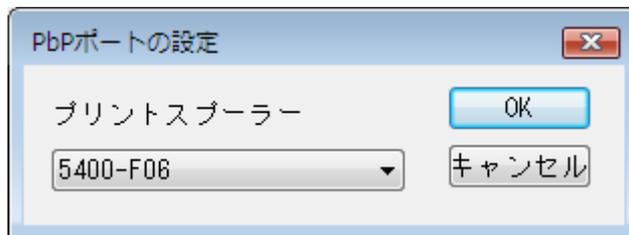


図 38 PbP ポート選択画面

4.4.2. PbP ポートを新規に追加する場合

複数の PbP プリントスプーラーを設定している場合、PbP プリントスプーラーごとに、PbP ポートを設定する必要があります。以下の手順で追加します。

(注)Windows Vista では、「管理者として実行」-「プロパティ」からプロパティウインドウを表示して、下記の操作を行ってください。

1. “図 37 プリンタープロパティのポート画面”の「ポートの追加」ボタンを押して、PbP ポートを追加します。
2. プリンターポート追加画面から、「PbP Local Port」を選択して「新しいポート」ボタンを押します。



図 39 プリンターポート追加画面

3. PbP ポート名入力画面にポート名を入力します。

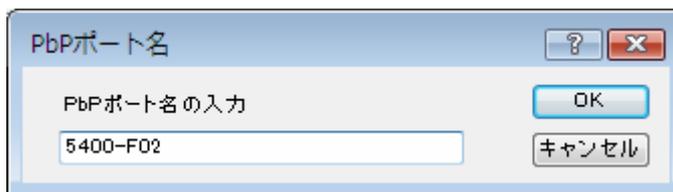


図 40 PbP ポート名入力画面

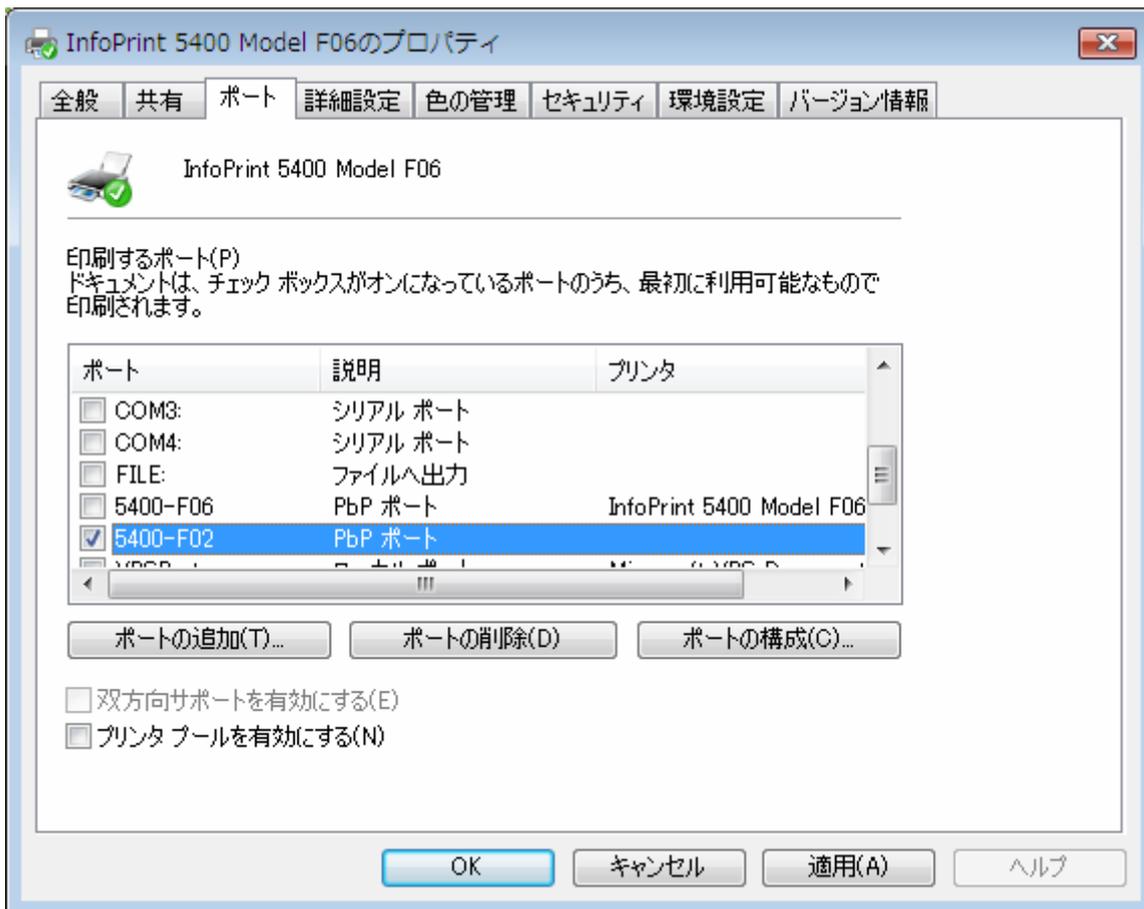


図 41 プリンタープロパティのポート画面 (複数の PbP ポートを登録)

4. “図 41 プリンタープロパティのポート画面 (複数の PbP ポートを登録)” から登録した PbP ポートを選択して、「ポートの構成」ボタンを押して、このプリンタードライバーの宛先となる PbP プリントスプーラー名を選択します。



図 42 PbP ポート選択画面